



国民春闘共闘

2024年度 第28号
2024年8月19日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

24年・第4回夏季一時金集計（最終）

単純平均 1.91 ヲ月 586,011 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は8月1日、2024年最終となる第4回目の夏季一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2024年	2023年同期
回答引き出し組合	1016	1265
うち 妥結組合	580(57.1%)	786(62.1%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2024年回答	2023年同期	同期比
単純平均	月数	1.91	1.89	0.02
	額(円)	586,011	575,182	10,829
加重平均	額(円)	598,961	592,154	6,807
	組合員数	157,608	183,718	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	24年回答	23年実績	実績比
単純平均	月数	819	648(79.1%)	267(32.6%)	1.94	1.92	0.02
	金額	441	310(70.3%)	287(65.1%)	609,173	591,822	17,351

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.762	1.310	0.503	1.134
	前年実績	0.738	1.287	0.472	1.076
	額(円)	54,027	246,184	92,038	132,283
	前年実績	39,632	188,978	62,927	116,458

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

8月1日に実施した2024年夏季一時金の最終となる第4回集計には、別表の25単産・部会から報告が寄せられました。

回答引出し組合は1905組合のうち1016組合（53.3%）で、前年最終集計（2023年8月4日：1265組合・57.8%）を4.5割下回りました。

回答引出し組合のうち156組合が数次の上積み回答を引き出しています。民放労連の1組合が6次回答、JMITUの3組合で5次回答を引き出し、4次回答11組合（JMITU：7、出版労連：2、化学一般労連、全倉運：各1）、3次回答31組合、2次回答110組合となっています。

回答引出し組合のうち580組合が妥結しており、妥結率は57.1%となりました。

回答内容

回答月数が判明している901組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は1.91ヵ月で、前年実績の1.89ヵ月を0.02ヵ月上回りました。

このうち民放労連の2組合が8ヵ月の回答を引き出したのをはじめ、5ヵ月以上6ヵ月未満3組合、4ヵ月以上5ヵ月未満10組合、3ヵ月以上4ヵ月未満53組合、2ヵ月以上3ヵ月未満344組合、2ヵ月未満489組合となっています。

金額回答のあった512組合での単純平均額（一組合あたりの平均）は、586,011円となり、前年実績575,182円を10,829円上回りました。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は598,961円で、前年実績592,154円から6,807円増となりました。

出版労連の3組合が200万円超の回答を引き出し、100万円以上200万円未満が46組合、50万円以上100万円未満が227組合、50万円未満が236組合となっています。

前年実績比較可能な組合を見ると、月数では819組合の単純平均で今期は1.94ヵ月と前年実績1.92ヵ月を0.02ヵ月上回っています。このうち267組合・32.6%が前年実績を上回り、381組合・46.5%が前年同月数を確保しています。金額では441組合の単純平均で609,173円と前年実績591,822円を17,351円上回り、引き上げ率は2.93%となっています。このうち287組合・65.1%が前年実績額を超える水準を獲得しています。

産業別に回答月数を見ると、鉱業・建設、製造、運輸・通信、マスコミ関係が単純平均で2ヵ月以上となっています。前年同期比では、農林水産、製造、卸売・小売、マスコミ関係がプラス、鉱業・建設、運輸・通信、医療、社会福祉・介護、その他サービスがマイナスとなっています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の12単産189組合から報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得は182件となっています。月数報告のあった120件の単純平均は0.762ヵ月で、前年実績0.738ヵ月（134件）を若干上回っています。また、金額報告のあった46件の単純平均は54,027円で、前年実績39,632円（88件）を14,395円上回りました。

月給制労働者では107件の一時金獲得となっています。単純平均月数は82件平均で1.310ヵ

月となり、前年実績 1.287 ヲ月（99 件）を 0.023 ヲ月上回り、単純平均額は 35 件平均 246,184 円で、前年実績 188,978 円（45 件）を 57,206 円上回りました。

継続雇用者での夏季一時金獲得報告は、時給制労働者が 17 件、月給制労働者が 38 件の計 55 件となっています。

時給制継続雇用者の単純平均月数は 0.503 ヲ月（12 件）で、前年実績 0.472 ヲ月を 0.031 ヲ月上回り、単純平均額は 4 件平均 92,038 円で、前年実績比（9 件平均：62,927 円）29,111 円増となりました。

月給制継続雇用者での単純平均月数は 1.134 ヲ月（20 件）で、前年実績比（17 件平均：1.076 ヲ月）0.058 ヲ月増、単純平均額は 132,283 円（15 件）で前年実績比（14 件平均：116,458 円）15,825 円増となりました。

前年実績比較可能な組合での単純平均を見ても、時給制労働者、月給制労働者、時給制継続雇用者、月給制継続雇用者のいずれも月数・金額ともに前年実績を上回る水準となっています。